

オリンピック・パラリンピック
出場経験者よりスポーツへの情
熱と皆様への熱いメッセージを
お届けします。

スマイルアスリート 森 敏さん

📍 スキー一家に生まれて

私は、長野県野沢温泉村出身で、祖父がスキージャンプ選手、両親と兄がアルペン選手、弟がモーグル選手というスキー一家に生まれ育ちました。物心つく前からスキーをはじめ、1998年長野オリンピックと2002年ソルトレイクオリンピックに出場することができました。自国開催のオリンピックに出場することができ、メダルは取れませんが、良い思い出となっています。

現在は、東海大学札幌キャンパスにて大学教員として働かたわら、同大学スキー部ノルディック監督や全日本スキー連盟スキージャンプコーチとして選手の指導に携わっています。

📍 オリンピックの思い出

長野オリンピックでは、競技場が遠いという理由で、選手村で宿泊せず、会場に近い白馬村に滞在しました。いつも合宿をしていたところで、いつもの食事、いつもの雰囲気、大会に臨むことができたのが良かったです。団体戦で5位に終わった時は、宿に帰ってきてからみんなで泣きながら祝杯をあげました。

2回目に出場したソルトレイクオリンピックでは、会場の近くの民家を貸切して滞在していたため、オリンピックでは選手村に宿泊することは一度もありませんでした。選手村での思い出は、立ち寄ったときに自動販売機から無料で入手したジュースだけです(笑)



「もり さとし」さん

スキー・ノルディック競技で、1998年長野五輪、2002年ソルトレイクシティー五輪に出場。

📍 ボランティアへの感謝の気持ち

様々な大会で、通訳をしてもらったり、買い物を手伝ってもらったりと、スポーツボランティアの皆様のおかげで頂きました。特に若者たちのパワーは素晴らしく、助けてもらおうと同時にたくさんのパワーをもらいました。スキージャンプの会場には、たくさんのボランティアの方々がいいます。斜面を整備する人、飛距離を確認する人、スタート係、会場係など多くのボランティアがいないと成り立たないスポーツです。会場も広く、冬の寒い中にも関わらず長時間の作業をしてくださるボランティアの方々にはいつも感謝しています。

📍 毎日続けていることがあれば
教えてください。

現役を引退した今でもストレッチは毎日続けています。現役時代は特に入念に行っていて、毎日一時間はしていました。

ノルディック複合競技は、スキージャンプとクロスカントリースキーの2つの種目を行います。スキージャンプの助走路では、クラウチング姿勢と呼ばれる低く小さな姿勢を取ります。体が硬いとバランスの良い姿勢になることはできません。クロスカントリーのトレーニングをしたあとは、特に体が硬くなりやすいため、ストレッチが必要となり、どの選手も入念に行っていました。「心も体も柔らかく」が私の選手時代のテーマでした。

📍 「クイズ」 アスリートからの挑戦状

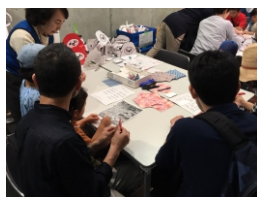
Q スキージャンプ台の踏切位置の傾斜は何度でしょうか？
(回答はウラ面)

「ラグビートップリーグボランティア」に
「ご参加いただきありがとうございます！」

2019年6月2日(日)、「ラグビートップリーグチーム招待試合(パナソニックワールドナイツVSトヨタ自動車ヴェルブリッツ)」が札幌ドームにて開催されました。スマイル・サポーターズ20名の皆さんにボランティアとしてご協力いただきました。白熱した試合のほか、ラグビー日本代表・札幌山の手高校出身のリーチマイケル選手のサイン付グッズプレゼントや、札幌ドームのバックステージ視察、ラグビーの体験会の実施など、楽しいイベントも盛りだくさんでした。

ラグビーW杯2019も、もうすぐ始まりです！日本代表チームを皆さんで応援していきましょう！

【当日活動写真】



「ティネットレイル2019」でのボランティア

「ご協力ありがとうございました！」

札幌オリンピックの聖地、標高1000mを越える手稲山麓を舞台にした初級者から上級者まで楽しめる本格的なトレイルランニングレース「ティネットレイル2019」が6月16日(日)に開催されました。

スマイル・サポーターズ30名がボランティアとして参加し、中には早朝5時からお手伝いいただきました。参加していただいたスマイル・サポーターズの皆さん、お疲れ様でした！

ラグビー強豪国みどころシリーズ④



連載 Road to 2019

ウェールズ代表チームの魅力に迫る！

ラグビー強豪国みどころシリーズ第四弾。今回は、ラグビーウェールズ代表チーム「レッドドラゴンズ」に密着します！

ウェールズは、グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国を構成する4つの国のうちの1つ。ウェールズは、グレートブリテン島の南西に位置し、南にプリストル海峡、東にイングランド、西と北にはアイルランド海があります。人口より羊の数が多く、もともとアングロサクソンではなくケルト人が自治していた地方で、現在でもケルト文化の名残が多く見られます。

ラグビーウェールズ代表は、ラグビーW杯2011年大会では、国際経験の少ない若手主体で準決勝に進出し、観客を沸かせました。ラグビーW杯の成績は、1987年大会の3位がベストレコード。チームの長は、すばやく展開するラグビーで、自由奔放なプレーが多く、観客を魅了します。これからの伸びしろが期待されるウェールズ代表チームのラグビーW杯2019でのプレーも見逃せません！



↓ラグビーW杯
最新情報はここから！



スマ・サポ インフォメーション

★今後のスマ・サポ活動予定★

○北海道コンサドーレ札幌2019シーズン運営ボランティア 随時募集

※はがき登録者の方で、ご興味ある方はコンサドーレ ボランティア担当(Tel011-777-5310)までお問い合わせください。

○スマイル・サポーターズ研修会 (募集終了) 2019年7月25日(木)開催

○北海道マラソン (募集終了) 2019年8月23日(金)～25日(日)開催

※北海道マラソンボランティアに申し込み頂いた皆さまは、全て応募受付完了しました。大会間近に主催者からマニュアルが郵送されますので、案内にそってご参事願います。

○ラグビーW杯2019ボランティア (募集終了) 2019年9月開催

○東京2020大会「都市ボランティア」 (募集終了) 2020年7月開催

※少人数または急遽のボランティア要請の場合、メール配信のみのご案内もありますので、ご了承ください。

ツイートのこたえ: マイナス10.5度

詳しい情報はSGSCのHPから！
<http://www.sapporosports.org/volunteers/>

そうだ！

ボランティアに参加しよう！



募集詳細はHP上またはメールでお知らせいたします！